

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

第 15 回定時総会 (平成 26 年度) 開催される

第 15 回定時総会が 5 月 15 日 (木) 15:00 ~ 17:00 頃までの間、東京プリンスホテル 2 階の「マグノリアホール」において開催されました。協議長は総会への会員企業の出席状況について事務局に説明を求め、事務局から「協 会長以下理事・監事正会員企業等から 36 社、44 名の出席が、また、委任状提出会員企業が 25 社あり、定款の定めるところにより第 15 回定時総会は有効に成立している。」旨報告しました。さらに本定時総会には、賛助会員企業からも 11 社、15 名の皆様方が出席されたほか、来賓として、経済産業省製造産業局産業機械課の金澤課長補佐及び関峯係長のお二人が陪席され、議長は、来賓として出席



第 15 回定時総会 (東京プリンスホテル)

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 15 回定時総会開催・・・・・・・・・・	1	中小企業関連事業・・・・・・・・・・	8
臨時理事会・・・・・・・・・・	5	振興対策事業・・・・・・・・・・	8
委員会開催・活動状況		会員ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・	6	工業会ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業／規格事業・・・・・・・・	7	新理事・監事一覧・・・・・・・・	12
技術調査事業・・・・・・・・	7	統計資料・・・・・・・・	13

(一社) 日本フルードパワー工業会
URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

していた金澤課長補佐から御挨拶を頂きたい旨発言があり、金澤課長補佐から最近の経済動向等について挨拶を兼ねた説明がありました。次に議長は、定款第 19 条に基づき議事録署名人は議長が指名することになっており、また、議長を含め 3 名必要であることから残り 2 名を指名した後、議事次第に沿って審議を進め、第 1 号議案及び第 3 号議案は承認され、第 2 号議案の報告は了承されました。

議事次第

第 1 号議案

平成 25 年度事業報告及び決算（案）の件

第 2 号議案

平成 26 年度事業計画及び予算に関する報告の件

第 3 号議案

平成 26 年度・27 年度の理事・監事の改選の件

第 4 号議案

その他

第 1 号議案の「平成 25 年度事業報告書及び収支決算報告書」（案）について、事務局から配布資料第 1 号により主要実施事業の概要を説明した。次に、収支決算書（案）について①収支計算書②貸借対照表③正味財産増減計算書③財産目録等について説明しました。

次いで議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して数井監事より監査結果について「妥当かつ正確であった」旨の報告がありました。その後、議長は本案を議場に諮り異議なく承認されました。（詳細は月報 4 月号を参照ください。）

第 2 号議案の「平成 26 年度事業計画書及び収支予算書」について、事務局より配布資料第 2 号を用いて主要事業の概要を説明した。次に、平成 25 年度の収支決算書の確定に伴い昨年 12 月に承認された平成 26 年度収支予算書の一部を変更した予算規模総額が 120 百万円強、事業費総額 80 百万円弱・管理費総額 39 百万円弱からなる予算（案）を説明した。議長は本案を議場に諮り異議なく了承されました。（詳細は昨年の月報 12 月号及び本年 4 月号を参照ください。）

第 3 号議案の「平成 26 年度・平成 27 年度の理事・監事の改選」（案）について事務局から配布資料第 3 号で基本的に理事・監事を再任したい旨説明し、総会開催案内状に理事・監事候補者（案）を添付したことなどを詳細に説明しました。議長は本案を議場に諮り、理事・監事候補者（案）は全員異議なく承認されました。

議長は 16：20 に総会の閉会を宣言し、選任された理事・監事による臨時理事会の開催を求めました。また、議長は臨時理事会終了後に新役員体制等を報告する必要があるため会員の皆様方に

はしばしこの場で休息していただきたい旨の願いをしました。その後、16：35 に理事・監事が戻り、事務局より別室で開催された臨時理事会で選任された、梶本新会長（CKD 株式会社代表取締役社長）以下新役員が報告され、脇前会長、園田前副会長兼西日本支部長、数井前監事から退任の挨拶が、臼井副会長、田中副会長、下尾西日本支部長、古川監事より就任の挨拶がありました。なお、梶本新会長の就任挨拶は、懇親会冒頭に行いました。（選任された新理事・監事名は本号 10 頁に掲載しております。）続いて梶本新会長から脇前会長、園田前西日本支部長、数井監事に感謝の盾と記念品の贈呈があり、17:00 に終了しました。

その後、17：05 頃から「鳳凰の間・東」において懇親の会を開催しました。

懇親の会では、はじめに梶本新会長が開会・就任の挨拶を行った後に来賓を代表して経済産業省製造産業局産業機械課の須藤 治課長よりご挨拶をいただきました。会場内は会員企業をはじめ学会、官界・当会顧問・関係団体・報道関係・当会会友の方々等 200 名近くの多数の皆様方が参集し懇親を深められ和気あいあいの後の 18：40 頃に散会しました。

懇親の会での梶本新会長挨拶文

「先程の総会・理事会に於いて、脇前会長の後任として会長に選任されました CKD 株式会社社長の梶本でございます。本日はご多忙にも拘りませず、この懇親会に、会員各社の皆様方を始め、経済産業省、報道関係、関連団体等、多くのご来賓にご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。

若輩ではございますが、職務を全うすべく最大限努力いたしますので、皆様方の絶大なるご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨今の経済環境ですが、国内は、日銀による超金融緩和政策の導入等、アベノミクス効果により企業マインドは前向きに変化をし、この春の春闘による賃上げ効果等により、デフレからの脱却が着実に進みつつあります。そんな中、今年 4 月には消費税率が引き上げられ、一部には個人消費を中心に反動減が現れてきているのも事実です。しかしながら、政府の緊急経済対策の実施による内需の下支えにより、景気の落ち込みは、一時的にとどまるものと見込まれ、年の後半からは景気は回復軌道に乗る見通しが強まっております。一方、海外を見ますと、米国の経済は底堅く、堅調な成長が続くものと見られ、加えて欧州も一時の低迷から脱しつつあり、アジア地域においても、少しずつ明るさが見え始め、さらに円安を背景にして、輸出環境も改善するものと期待されています。あえて言うのであれば、アジアの大

国であります中国経済の先行き不透明感や、混沌としたウクライナ情勢、そしてタイの政情不安等が心配だという事になりますが、総じていえば、緩やかな成長が期待できるものと考えております。



挨拶する梶本新会長

私は、副会長時代に、需要対策事業を担当させていただいており、本日お配りした「平成26年・年度油圧・空気圧機器の需要見通し」を公表させていただきました。これは、我々のユーザ業界の動向、会員各社が肌で感じる経済動向、そして、政府等から出される統計などを基にマクロ分析を行い、これらを総合調整して作成したものです。油圧、空気圧とも前年・前年度比プラス成長の予測を公表しました。が、一部にはもう少し期待できるのでは、との声もあるなか、私は、あえて固めの数字にすべきだと考え、公表させていただきました。

協前会長は、かねがねフルードパワー産業は、健全な競争と協調の中で発展し、成長していくことが大切であると言われておりました。私も、これは全く同感であります。この健全な産業風土の中でこそ、我が国の機械産業の“ものづくり”を支える重要なフルードパワー産業をより発展させていくことができ、ひいては、我が国の機械産業・製造業全体の効率化、高度化を支えることができるのではないかと考えております。

今年は、私どもが主催する IFPEX2014 及び協賛する JIMTOF2014 開催の年です。特に3年ぶりに開かれる IFPEX2014 では、油圧、空圧に加え、水圧を含めたフルードパワーの新しい産業パワーを展示すべく、会員各社が工夫を凝らした出展準備を進めております。関係者のご来場を強くお待ちしております。

また、JIMTOF2014 では、会員企業8社が出展すべく準備を進めているところです。

いずれにせよ、これら展示会がフルードパワー

産業の新たな需要分野を開拓し、所期の目的を達成することにより、大きな成果が上がるよう、最大限の努力をさせていただきます。

少し先の事になりますが、2020年の東京オリンピック、2027年の中央リニア開業といった、国レベルのとても大きなイベントが計画されています。

まさに、1964年に開催されました東京オリンピックや新幹線の開業と、背景が重なり合うわけですが、あの頃とは違い、今度は成熟した日本で行われることとなります。それらイベントに向けて、日本の国はより発展をし、世界にもさらに貢献をしていくと思っております。

私ども、フルードパワー工業会も、その一躍が担えるよう、一層努力をしております。

最後になりましたが、本日、此処にご臨席の皆様方の益々のご健勝と会員各社のご発展を祈念し、措辞ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。」

懇親の会の須藤産業機械課長挨拶文

「ご紹介いただきました経済産業省製造産業局産業機械課長の須藤です。協前会長には、任期中力強いリーダーシップ、明るいお人柄で業界を牽引いただきました。例えば産学官の連携推進事業や若い経営者の交流事業等まさに工業会として次に向けてのチャレンジの礎を築いていただいたと感謝しております。あらためてそのご功績に敬意を表します。また今般、新会長に就任しました梶本会長にはあらためてご就任のお祝い申し上げますとともに、先程の新会長の挨拶の中で久しぶりに、油圧、空気圧の需要が増えるとの見通しであります。ここにおられる関係工業会の幹部の方々も、今年はガッツリ発注するというお顔でおられますので、大いに期待したいと思っております。



挨拶する須藤産機課長

さて、日本経済厳しいデフレが続いてまいりま

した。この20年間は、どちらかという前向きに向かっていくというよりもコスト削減、あるいは競合各社間での厳しい競合が続いてきたものと思っております。この流れをなんとか止めていきたいというのが、まさに政府一丸となって取り組んでいるものであります。昨年来例えば、先端設備の補助金、ものづくり補助金、更にはできるだけ手続きを簡素化した使い勝手の良い設備投資減税の創設、また、政府としては異例ではありますが、企業に給与引き上げの要請し、その中で給与を引き上げた企業に対しては、引き上げた部分の10%の減税等具体的なわかりやすい措置を行ってきました。しかしながら、率直に言ってまだまだだと思います。

日本経済を順調な軌道に乗せていくには、更に、日本が世界経済をリードしていくという形になるためには、多くの措置が必要だと思っております。来年に向けては、今、新聞紙上をにぎわせておりますが法人減税がひとつの論点になります。経済産業省は、皆様方の生の意見を伺い関係省庁にきちっと伝えて行きたいと思っております。勿論、皆様方には、ビジネスでしっかりと稼いでいただいて、その稼ぎを次の成長に向けていけるように、日本でものづくりができるように、日本でビジネスをしやすくできるように、法人減税についてはしっかりとやっていきたいと思っております。それから、これも一部報道されておりますが、5月6日に安部総理が、パリのOECD閣僚理事会で演説をされております。その中に、「ロボットで革命を起こすのだ。」という皆様方の業界にも大変関係の深い文面が出ております。例えば、サービス産業のようなこれまであまりロボットを使われていなかった分野あるいは食肉加工工場のロボット化等日本のビジネスの生産性を高めるためにロボットを使っていこうと、あるいはものづくりの現場でロボットをつかっていこうなどのマスタープランを作って、成長戦略の中に取り込んでいく演説をされております。これは、単純にロボット産業の振興策ではなくて、日本でものづくりをする皆様方が活動しやすいように生産性向上の取り組みを応援していくことだと僭越ながら理解しております。これから新しい政策への議論が活発化していきます。是非、皆様方の生の声を引き続きお寄せいただき、少しでも来年に向けて、ビジネスの環境を整えていくことができると思っております。この厳しい状況の中で、皆様方大変なご努力をして今の地位があるのだと思います。皆様方のご努力と相まって、是非力強い年に、力強い年になることを願っております。最後になりますが、日本フルードパワー工業会の

益々のご発展、会員企業の方々が思いっきり稼げるように、そして若干手前味噌ではありますが、その稼いだお金の税金がちゃんと減税されることができますように、そしてご参会いただいております皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。」



通常総会後の懇親の会（鳳凰の間・東）

協前会長の退任挨拶文

先程の臨時理事会で会長の職を離れることになった東京計器（株）の脇でございます。今迄の内外でのスピーチで最も印象に残っているものは、壇上に立つなり「Thank you and Good-bye」でした。私も引き際は、跡を濁（にご）さず黙して立ち去りたかったのですが、事務局から、退任するにあたり「一言、ご挨拶しなさい」との厳命を受けましたので、二言、否、三言程ご挨拶させていただきます。

2年という短い間でしたが、会長としての責務を少しでも果たせたのか忸怩たる思いもありますが、敢えて過去は振り返りません。

先行きについては、国内の景気は緩やかに回復していくことが期待されていますが、米国の継続された金融緩和縮小、欧州の未だ燻る政府債務問題、ロシアのウクライナ問題長期化、中国の金融リスク不安、インド等新興諸国の経済不確実性など、此れ等の影響による海外景気の下振れが国内景気を下押しすることも懸念されています。このように先行きが不透明なときには、その推移、動向、影響等を見守りながら慎重に対応していかなければなりません。しかし、会長就任の挨拶でも申し上げましたが、危機に対する管理は常に怠らないながらも決して過度に悲観的になってはならないと存じます。何故ならば、悲観的な姿勢からは失望、不安、恐怖等が生み出され周囲を萎縮させるだけであり、楽観的な姿勢になって初めて希望、夢、勇気等が生み出され難局を克服する知

恵や力が創造されるからであります。

先程、経済産業省の金澤課長補佐が「国内でのものづくりの再評価」について説明されましたが、この「ものづくり」についても、日本の製造業は完全に競争力を失ったと断言する悲観的な経済評論家も少なくありません。確かに、新興諸国で「地産・地消」が進む中、柔軟な国際分業、即ち海外と国内に生産を棲み分けていかざるを得ないのかもしれませんが、しかし、日本から「ものづくり」が全く無くなってしまいう訳ではありません。また、日本の「ものづくり」が復活しない限り、日本の経済再生はあり得ません。超円高は是正され、東南アジアでも賃金が上昇していることから、新興諸国での人件費の優位性は薄れつつあります。また、政府が構造の改革、税制の緩和、規制の撤廃などを断行すれば、日本の製造業の立地競争力は更に高まっていきます。但し、外部環境が好転しただけでは、以前の輝きを取り戻し国際的な競争力を高めることはできません。「日経ものづくり」の4月号に「日本製造業の将来」について、アンケート調査の結果が掲載されていました。今後、競争力を持つ分野については、ロボット介護機器、工作機械、省エネ関連機器、農業機械、食品加工機械などが挙げられていましたが、これは生産技術や加工技量が依然として日本の「強み」であると捉えているからだと推定されます。また、差別化のポイントについては、従来の「機能」、「価格」などから「顧客への個別対応」へと変化していくとの回答が多く寄せられていましたが、これは顧客の課題解決が重視されるようになってきたと同時に、商品そのものよりも、生産プロセスの強さ、即ち生産現場の「技能が高い」、「対応が速い」などが差別化を左右すると感じているからだと推測されます。年始会の挨拶でも申し上げましたが、日本の製造業は世界の何処にも真似のできない得意技、即ち一つには、過去から長い間に培ってきた独自性と優位性の高い「生産技術」、二つには、細かな調整と摺り合わせで複雑なものを仕上げていく「加工技量」、そして三つには、密接に連携し弛まず改善し続ける「強い現場力」を持っています。この三つの得意技を上手く活かし、伝承し、更に新たな得意技、例えば三次元(3D)造形技術等を習得しながら進歩させ続けていけば、日本の「ものづくり」は、その役割や形態が変わったとしても、単に存続するだけでなく、将来に亘っても競争優位を維持し成長し続けていくことができると私は確信しております。



挨拶する脇前会長

我々が生み出すフルードパワー機器は、日本の「ものづくり」を支える重要な中核商品であります。当工業会では「次世代経営を考える会」が昨年の10月に発足しましたが、人材を育成して基盤となる技術・技量を伝承するだけでなく、時代、社会、そして内外の顧客が抱える課題を解決するような「独自性」と「優位性」に加え、満足以上の驚きや感動を与えるような「独創性」と「創造性」を創出するためには、当工業会はユーザーによる「技術講演会」等を開催して会員各社の知識を深め、産学連携、即ち日本フルードパワーシステム学会との連携を強化して一層の省エネ技術、水圧技術等の新技術に係る共同研究などを促進することが求められていると存じます。また、当工業会はIFPEX等の国際見本市で日本のフルードパワー産業の魅力を発信して新たな市場と需要の開拓を支援し会員各社の発展に寄与することも望まれていると存じます。会員各社へ必要な情報を適時・適切に提供していくなどのサービスを充実させることは勿論、このような当工業会の活動が、新会長の下、会員各社の健全な競争と協調の中で、一段と活発になっていくことを大いに期待しております。

ともあれ、微力非才ながら今日まで何とか遣ってこられたのは、此処にご参集の会員皆様方のご協力と事務局のご支援の賜物であると、心より感謝申し上げます。誠に、ありがとうございました。」

臨時理事会の開催

5月15日(木)16:25~16:30までの間、東京プリンスホテル11階の「高砂」で臨時理事会が開催された。総会で選任された新理事・新監事のうち、出席理事24名、監事2名による臨時理事会が開かれ、梶本新会長(CKD(株)代表取締役社長)、臼井新副会長(KYB(株)代表取締役社

長)、田中新副会長(油研工業(株)代表取締役社長)、下尾新西日本支部長(ダイキン工業(株)専任役員油機事業部技師長)、古川新監事(古川清二税理士事務所所長)以下の新役員を選出した。その後、会長及び専務理事の業務の執行状況について報告があり、臨時理事会は終了した。

(選任された新役員名簿は本号8頁の「工業会ニュース」欄に掲載しております。)



臨時理事会(東京プリンス11F「高砂」)

第53回JFPA親善ゴルフ大会

総会翌日の5月16日(金)に程ヶ谷ゴルフ倶楽部において標記親善ゴルフ会を開催した。当日はスタート時の天候は良好であり、梶本新会長、宮内元会長、園田前副会長・西日本支部長、十万副会長、北畠副会長、瓜生理事以下21名が9:12にOUT・IN3組で同時スタートした。終日好天に恵まれた絶好のゴルフ日和で、好スコアーを記録した方や不本意なスコアーの方も多々いたようですが、プレーは順調に進行し、午後2:30頃に無事終了しました。成績は以下の通りです。

優勝 近藤 綱亮

(三明電機(株)代表取締役社長)

2位 西 敬三郎

(日本エンギス(株)代表取締役社長)

3位 清水 忠憲

(三国機械工業(株)代表取締役社長)

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

標準化事業/ISO対策事業

~~~~~

シリンダ分科会

日時 5月22日(木) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館1-3会議室

出席者 東川主査以下6名

事務局 千葉

議事

前回議事録確認後、ISO関連として、投票に掛かっている定期見直しISO 6099:2009, ISO 8139:2009, ISO 8140:2009について審議し、コメントを確認した。ISO/DIS 4393及びISO/DIS 6432については、日本の意見が反映されているのでコメントなし賛成で投票することにした。

JIS関連として、平成26年度4月に応募したJIS B 8366-5の改正案について審議した。

次回開催:9月18日(木)東京ビッグサイト会議室

空気圧調質機器分科会

日時 5月23日(金) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館1-5会議室

出席者 小田主査以下6名

事務局 千葉

議事

前回議事録確認後、主査より平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画について説明があった。

続いて、ISO/TC131/SC5/WG5 ミルウォーキー会議報告として空気圧消音器のISO化についての状況説明があった。審議状況としてはフランス有利に傾いているので日本として巻き返しを図るための日本の対応及び進め方について議論した。

次回開催:7月11日(金)機振会館1-5会議室

*ISOの動き

ISO/TC131 ミルウォーキー国際会議

米国ミルウォーキーにおいて5月6日~9日の4日間、TC131/WG4(空気圧機器の信頼性評価)、TC131/SC5/WG3(空気圧流量測定法)及びTC131/SC5/WG5(空気の調質)会議が開催された。日本からはSMC(株)の妹尾委員、田村委員及び甲南電機(株)の小田委員が参加した。

ISO/TC131 ナッシュビル国際会議

米国において5月12日~14日の3日間、TC131/SC6(汚染管理)関連、TC131/S7(密封装置)及びTC131/SC7/WG3(Oリング)会議が開催された。日本からはNOK(株)の中尾委員及び小畑SC7議長が参加した。

投票に付されているISO規格案

(TC131)

ISO/FDIS 10766 Hydraulic fluid power
--Cylinders--Housing dimensions for

rectangular-section-cut bearing rings for pistons and rods

FDIS 16908 Hydraulic filter element test methods -- Thermal conditioning and cold start-up simulation

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

空気圧バルブ分科会

日時 5月8日(木) 13:30 ~ 16:00
場所 機械振興会館1-5会議室
出席者 丸山主査以下4名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、JIS B 8373の本文最終案及び解説最終案について、全体について確認し、一部修正を行った。最後に、26年度の活動テーマについて検討した。

次回開催：6月5日(木) 機振会館1-3会議室

JIS 原案作成本委員会

日時 5月20日(水) 14:00 ~ 16:00
場所 機械振興会館5S-3会議室
出席者 香川委員長以下12名
事務局 千葉
議事

香川委員長(東京工業大学教授)の開会挨拶の後、次のJIS原案の審議に入った。

*JIS B 8373 空気圧電磁弁

主査よりJIS B 8373, 8374, 8375の3規格の改正の経緯の説明の後、審議中に問題となった事項を中心に改正案の説明があった。続いて質疑応答に移り、委員からの指摘事項に対し詳細な説明を行った。また、規格協会より規格の構成について指摘があったので一部構成を変更することにした。修正案を作成後、委員に送付し書面審議を行うことにした。書面審議終了後、(一財)日本規格協会へ提出する。

エアドライヤ分科会

日時 5月23日(金) 13:30 ~ 16:00
場所 工業会会議室
出席者 間瀬主査以下4名
事務局 千葉
議事

前回議事録の確認後、工業会規格として検討中の「エアドライヤの選定及び使用指針」について、

配布資料案をもとに検討した。

次回開催：10月24日(金) 工業会会議室

空気圧システム分科会

日時 5月26日(金) 13:30 ~ 16:30
場所 機械振興会館1-5会議室
出席者 張主査以下5名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、主査より平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画について説明があった。

次に、投票に掛かっているISO 5784-1, -2, -3については、日本国内ではあまり使われていないので「確認」投票とすることにした

最後に、改訂版リスク低減に関するガイドブック(JIS B 8370:2013 準拠)案について継続審議した。

次回開催：7月25日(金) 機振会館1-5会議室

空気圧コンタミ分科会

日時 5月30日(月) 13:30 ~ 16:30
場所 機械振興会館1-5会議室
出席者 三浦主査以下6名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、工業会規格JFPS 2005:2000の見直し改訂案の本文及び解説について最終的な審議を行った。

次回開催：7月18日(金) 機振会館1-3会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第499回特許分科会

日時 5月23日(金) 13:00 ~ 17:00
場所 機械振興会館6-61会議室
出席者 赤松幹事以下8名
事務局 吉田
議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。審議中の4件について、1件は、有効な証拠資料が発見できないため今回で調査を終了することとした。3件については引き続き調査を行うこととした。

委員交代があり、10年間特許分科会に貢献していただいた伊藤委員の後任に甲山委員が就任した。

次回開催：6月27日(金) 大阪産業創造館6F C

～～～～～～～～
中小企業関連事業
～～～～～～～～

第1回中小企業委員会 WG

日時 5月7日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 15名

事務局 大橋

議事

今回4社の委員が交代するため自己紹介を行った後、事務局の進行により議事を進めた。なお持ち回りで担当する幹事の選任は別途行うこととした。

1. 平成26年度事業日程について

事前に案内済みの平成26年度日程表を確認し、特に、次回の合同委員会が7月16日に変更になったことを再確認した。あわせて昨年度～本年度上期に至る委員会実施概要を事務局から報告した。

続いて、本年9～10月に実施予定の研修視察訪問先(国内)について、過去の訪問実績などを参考にしながら意見交換を行った。従前から案のあるエネルギー関連、復興関連企業、地熱発電所などのほか、油圧の需要分野である鉄鋼、造船及びその周辺装置、鉄道車両、自動車、サービスロボット関連、日本が世界に誇れる企業、技術革新を生み出している企業など、多岐に亘る希望があった。今後、アンケートなどにより企業名、問い合わせ窓口なども募ったうえ、必要に応じて次回委員会の1時間前から絞り込みを行うこととした。

2. 出席各社の現況報告

各社決算期は異なるが、前半不調、後半持ち直しの状況が複数社で見られ、造船、クレーン、復興関係の需要など特定分野で好調との報告もあった。消費税率変更の影響は、一部駆け込み需要増もあったとのことであるが、全体への影響は今のところ少ないようである。

～～～～～～～～
振興対策事業
～～～～～～～～

IFPEX2014 実行委員会

日時 5月12日(月) 15:00～17:00

場所 機振会館 会議室

出席者 矢島委員長以下13名

事務局 藤原、唯根

荒井、上片平

(フジサンケイビジネスアイ)

議事

初めにサービス・会場構成分科会及び併催事業分科会を開催した。その後両分科会メンバーによる実行委員会を開催し、出展者申し込み状況及び両分科会の報告を行った。今回から出展者専用サイトを作成し、各種申し込みをインターネットでも受け付けられる体制を構築することとした。

また、ハッピーアワーを実施することとした。
次回開催:6月17日(火) フジサンケイビジネスアイ

～～～～～～～～
会員ニュース
～～～～～～～～

☆社長交代

(正会員)

アクト電機工業株式会社

取締役社長 竹崎 一生(新任)

代表取締役会長 佐竹 和彦(昇任/前社長)

5月吉日付けで就任されました。

～～～～～～～～
工業会ニュース
～～～～～～～～

☆平成26・27年度の新役員人事決まる

第15回通常総会で理事・監事の改選が行われその後、臨時理事会が開催され、以下の新執行部が誕生しました。

なお、顧問に前副会長兼西日本支部長を退任した園田 誠殿が就任されました。

会長 梶本 一典殿 (CKD (株))
代表取締役社長
(新任)

副会長 臼井 政夫殿 (KYB (株))
代表取締役社長
(新任)

〃 田中 治殿 ((株)油研工業 (株))
代表取締役社長
(新任)

〃 十万 幹雄殿 (神威産業 (株))
代表取締役社長
(重任)

〃 北畠 多門殿 (SMC (株) 常任顧問)
(重任)

西日本支部長

下尾 茂敏殿 (ダイキン工業 (株))

専任役員油機事業部技師長

(新任)

専務理事 藤原達也殿 (事務局) (重任)

監 事 澤田 敬之殿 (タイヨーインタナショナル (株) 代表取締役社長)

(場 所) 当会会議室

〃 古川 清二殿 (古川税理士事務所所長)
(新任)

*平成 27 年

☆1月16日(金) 年始会及び第73回理事会
(場 所) 東京プリンスホテル

☆2月18日(水) 第4回中小企業委員会
(場 所) 機振会館

顧 問 澁谷久雄殿 (神威産業 (株) 相談役)

〃 高田芳行殿 (SMC (株) 代表取締役会長)

〃 堤 康司殿 ((株) コガネイ相談役)

〃 小澤忠彦殿 (KYB (株) 代表取締役会長)

〃 松本和幸殿 (ナブテスコ (株) 相談役)
(以上重任)

~~~~~

5月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)

〃 園田 誠殿 (川崎重工 (株) 取締役)  
(新任)

~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

シリンダ分科会

開催日 5月22日(木)

出席者

主 査 東川智信 (TAIYO)

委 員 樫本晴夫 (甲南電機)

〃 渋谷修一 (SMC)

〃 米沢 剛 (豊和工業)

〃 吉田泰裕 (CKD)

〃 辻 浩樹 (堀内機械)

☆クールビズの導入について

4月号の月報でお知らせした通り5月1日(木)
~10月31日(金)の間、当会主催の会議等への
出席に当たっては、クールビズを導入しますので
再度ご連絡します。

なお、経済産業省においても同期間中は、ク
ールビズを導入しておりますので再度お知らせし
ます。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

*平成 26 年

☆6月24日(火) 標準化・技術合同委員会
(場 所) 機振会館

☆7月16日(水) 第2回中小企業委員会
(場 所) 機振会館

☆9月17日(水)~9月19日(金)
第24回 IFPEX 2014 開催
(場 所) 東京ビックサイト

☆9月17日(水) 第20回政策委員会
(場 所) 未定

☆10月8日(水) 第3回中小企業委員会
(場 所) 機振会館

☆10月16日(木) 西日本支部総会
第71回理事会・臨時総会
(場 所) 未定

☆10月17日(金) 西日本支部懇親ゴルフ会
(場 所) 未定

☆10月30日(木)~11月4日(火)
第27回 JIMTOF 2014 開催
(場 所) 東京ビックサイト

☆12月16日(火)
第21回政策委員会

空気圧調質機器分科会

開催日 5月23日(金)

出席者

主 査 小田敏裕 (甲南電機)

委 員 郡司 浩 (コガネイ)

〃 三村 岳 (SMC)

〃 田中尚志 (CKD)

〃 高橋隆道 (甲南電機)

〃 妹尾 満 (SMC)

(標準化事業/規格事業)

空気圧バルブ分科会

開催日 5月8日(木)

出席者

主 査 丸山哲郎 (SMC)

委 員 河野喜之 (甲南電機)

〃 木下裕生 (アズビル TACO)

〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)

JIS 原案作成本委員会

開催日 5月20日(水)

出席者

委員長 香川利春 (東京工業大学)

委 員 北川 能 (東京工業大学)

〃 菊地治彦 (東芝機械)

〃 梅木耕二 (トヨタ自動車)

- 〃 原口秀夫 (パナソニック)
- 〃 庄野勝彦 (日本産業機械工業会)
- 〃 朝山恒男 (日本規格協会)
- 〃 宮崎正治 (日本規格協会)
- 〃 丸山哲郎 (SMC)
- 〃 夏目清辰 (CKD)
- 〃 河野善之 (甲南電機)
- 〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)

エアドライヤ分科会

開催日 5月23日 (金)

出席者

- 主査 間瀬達夫 (CKD)
- 委員 那須一文 (SMC)
- 〃 竹内則久 (オリオン機械)
- 〃 西端一弘 (日本精器)

空気圧システム分科会

開催日 5月26日 (月)

出席者

- 主査 張 護平 (SMC)
- 委員 増尾秀三 (CKD)
- 〃 上間丈司 (クロダニューマティクス)
- 〃 神戸孝典 (甲南電機)
- 〃 加藤猛美 (コガネイ)

空気圧コンタミ分科会

開催日 5月30日 (金)

出席者

- 主査 三浦孝夫 (アトラスコプロ)
- 委員 大嶽康行 (CKD)
- 〃 榊田充隆 (コガネイ)
- 〃 高橋隆道 (甲南電機)
- 〃 永井祐文 (オリオン機械)
- 〃 鈴木敏弘 (SMC)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第499回特許分科会

開催日 5月23日 (金)

出席者

- 幹事 赤松直人 (甲南電機)
- 委員 栗盛宏樹 (アズビル TACO)
- 〃 井野雅康 (SMC)
- 〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)
- 〃 佐藤 浩 (コガネイ)
- 〃 伊藤雄一 (CKD)
- 〃 甲山登紀夫 (CKD)
- 〃 堀田秀和 (TAIYO)

(中小企業関連事業/その他事業)

第1回中小企業委員会 WG

開催日 5月7日 (水)

出席者

- 委員 桐生邦彦 (オックスジャッキ)
- 〃 花岡隆司 (神威産業)
- 〃 村上博昭 (光陽精機)
- 〃 高野和治 (光陽精機)
- 〃 廣井正夫 (大生工業)
- 〃 松岡 勉 (タカコ)
- 〃 田中裕之 (日本オイルポンプ)
- 〃 土屋英之 (日本アキュムレータ)
- 〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)
- 〃 西本 茂 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 越湖修二 (マツイ)
- 〃 松井源太郎 (マツイ)
- 〃 木下純夫 (三尾製作所)
- 〃 保坂淳一 (理研精機)

(振興対策事業)

IFPEX 実行委員会

サービス・会場構成分科会

併催事業分科会

開催日 5月12日 (月)

出席者

- 委員長 矢島俊也 (油研工業)
- 委員 中川修一 (SMC)
- 〃 湯浅貴之 (神威産業)
- 〃 伊東正博 (川崎重工業)
- 〃 北村嘉之 (KYB)
- 〃 宮川新平 (KYB)
- 〃 宮田浩明 (コガネイ)
- 〃 岡部満康 (CKD)
- 〃 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)
- 〃 内山 治 (東京計器)
- 〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)
- 〃 田島有紀子 (不二越)
- 〃 善如寺誠 (ボッシュ・レックスロス)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<5月>

7日 (水)

・中小企業 (委) WG

8日 (木)

・ISO (委) 空気圧バルブ分科会

11日 (日) ~16日 (金)

・標準化 (委) ISO 国際会議

- 12日（月）
・ 振興（委）IFPEX 実行委員会
- 15日（木）
・ 第15回定時総会
・ 臨時理事会
- 16日（金）
・ 第53回JFPA ゴルフ懇親会
- 20日（火）
・ 標準化（委）JIS 原案作成本委員会
- 22日（木）
・ ISO（委）ISO シリンダ分科会
- 23日（金）
・ ISO（委）空気圧調質器分科会
・ 標準化（委）エアドライヤ分科会
・ 技術（委）空気圧部会第499回特許分科会
- 26日（月）
・ 標準化（委）空気圧システム分科会

- 30日（金）
・ 標準化（委）空気圧コンタミ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

選任された新理事・新監事名

	役 職	氏 名	会 社 名 及 び 役 職
1	理 事	相原 伸展	(株) 大阪ジャッキ製作所 代表取締役社長
2	理 事	臼井 政夫	KYB (株) 代表取締役社長
3	理 事	瓜生 卓郎	瓜生製作 (株) 代表取締役社長
4	理 事	葛西 隆之	クロダニューマティクス (株) 代表取締役社長
5	理 事	梶本 一典	CKD (株) 代表取締役社長
6	理 事	北畠 多門	SMC (株) 常任顧問
7	理 事	黒木 安彦	NOK (株) 専務取締役 営業本部長
8	理 事	小谷 和朗	ナブテスコ (株) 代表取締役社長
9	理 事	河渕 健司	(株) TAIYO 代表取締役社長
10	理 事	下尾 茂敏	ダイキン工業 (株) 専任役員油機事業部技師長
11	理 事	十万 幹雄	神威産業 (株) 代表取締役社長
12	理 事	末永 昭	三輪精機 (株) 代表取締役社長
13	理 事	杉村 宣行	日本アキュムレータ (株) 代表取締役社長
14	理 事	田中 治	油研工業 (株) 代表取締役社長
15	理 事	塚原 修一	(株) 阪上製作所 取締役営業本部長
16	理 事	中野 琢雄	イハラサイエンス (株) 代表取締役社長
17	理 事	坂野 和秀	豊和工業 (株) 代表取締役社長
18	理 事	肥田 一雄	川崎重工業 (株) 常務執行役員 精密機械カンパニープレジデント
19	理 事	平田 穂	豊興工業 (株) 代表取締役社長
20	理 事	平野 雅志	アズビル TACO (株) 代表取締役社長
21	理 事	廣瀬 一輝	廣瀬バルブ工業 (株) 代表取締役会長
22	理 事	藤原 達也	(一社) 日本フルードパワー工業会
23	理 事	船山 隆壽	(株) コガネイ 代表取締役社長
24	理 事	松本 和夫	ボッシュ・レックスロス (株) 営業本部本部長
25	理 事	三木 伸一	住友精密工業 (株) 代表取締役社長
26	理 事	宮内 壽一	甲南電機 (株) 代表取締役会長
27	理 事	八木 秀治	日本精器 (株) 代表取締役社長
28	理 事	吉田 和人	(株) 不二越 常務取締役
29	理 事	脇 憲一	東京計器 (株) 代表取締役社長
1	監 事	澤田 敬之	タイヨーインタナショナル (株) 代表取締役社長
2	監 事	古川 清二	古川税理士事務所所長

